

令和5年度 第2回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年6月27日（火） 14時30分から16時20分まで
- 2 開催場所 春野中学校 校長室
- 3 出席委員 鈴木誠、市川相寿、児玉順子、森下廣隆、山下尚美、福島英明、
正久幸廣（15時30分より参加）
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 河合和夫（校長）、沖田暁（教頭）、渡邊理保（CSディレクター）
- 6 傍 聴 者 なし

7 協議事項

- （1）授業参観を通しての生徒の様子
- （2）学校行事について
- （3）学校評価アンケートについて
- （4）2年生職場体験学習について

8 会議録作成者 渡邊理保（CSディレクター）

9 会議記録

- ・司会の 沖田暁 教頭から、委員総数7名のうち6名の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。（正久幸廣委員は15時30分より参加）

（1）議長の選出について

- ・司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、児玉順子副会長を推挙する旨の発言があり、協議の結果全員異議なくこれを承認した。

（2）前回議事録（R5年度学校経営構想等）確認

- ・議長の指示により、沖田 暁 教頭から資料に基づき説明があった。

（3）授業参観を通しての生徒の様子

- ・授業の参観後、委員より以下の発言があった。

○理科の授業を参観して、グループに分かれての授業は会話のキャッチボールができてい
るように感じた。参観していてとても勉強になった。もう少し参観の時間があってもよ
いと思った。（市川委員）

○昔は一方通行の授業が多かったが、生徒と先生との会話でコミュニケーションをとりな
らの授業で、昔とは授業風景が変わってきていると感じた。（福島委員）

- 子どもたちが主体的に考えて取り組んでいる授業内容だった。ただ、少人数でクラス替えがないぶん、刺激が少ないように感じた。（森下委員）
- 子どもたちは落ち着いて授業を受けていると感じた。授業の内容を生徒が家で話して親が教えてもらう。それが子どもの復習につながっていくように感じた。（山下委員）
- 少人数ならではの授業ができていると感じた。（児玉委員）
- 小規模校ならではのよさはあるが、競争心が少ないように感じた。（鈴木委員）

（４）学校行事について

- ・ 議長の指示により、沖田暁 教頭から資料に基づき説明があった。

（５）学校評価アンケートについて

- ・ 議長の指示により、沖田暁 教頭から資料に基づき説明があった。
- ・ 委員より以下の発言があった。

- 学校評価アンケートの学習面の項目は、年に数回しか授業を参観する機会のない保護者では、判断しにくいところがあると思う。（市川委員）
- 宿題は課題以外に進んで取り組むことがよいのか、課題追究に時間を使った方がよいのか個人の感覚もあるので難しいところがある。（山下委員）
- 課題以外の学習を自分なりに進めたいけれど、課題もやらないといけないなど、負担に思う子もいるかもしれない。個人差があるので個々にあった対応をしてほしい。（森下委員）
- 与えられた課題以外にも子どもが主体的に取り組めるように促してほしい。（児玉委員）
- SNS利用については家庭によって基準が違うので難しい。（福島委員）
- SNSの講座は親子一緒に聞くことが大事だと思う。（児玉委員）

（６）２年生職場体験学習について

- ・ 議長の指示により、沖田暁 教頭から資料に基づき説明があった。
- ・ 委員より以下の発言があった。

- 希望体験先は子どもたちが知っている範囲と知らない範囲があるので、事前に伝えておいた方がよいと思う。（山下委員）
- 日程や職種によっては受け入れができない職場もあるかもしれないので、事前に確認をした方がよいと思う。（鈴木委員）
- 子どもたちの意見を尊重しつつ体験学習をおこなってほしい。（市川委員）

その他連絡事項等

- ・ 司会から、次回以降の会議の日程について報告があった。

第３回 学校運営協議会 令和５年１１月２８日（火）１４時３０分～１６時００分

第４回 学校運営協議会 令和６年 ２月１６日（金）１５時００分～１６時００分